

第13回NFAフットサル大会 大会経緯と概要 (1/3)

- 主 催：成田市サッカー協会 ■主 管：市協会6種部会 ■協 力：市協会審判部
- 開催日：令和3年5月9日(日) ■会 場：成田市中台体育館 ■協 賛：
- 運 営：高橋（6種部長）、濱田（事務局）、江角（兼・事務局広報）、斎藤（規律委員会）、林（審判部）、関谷（5種）、坂田（技術部5種選抜）、熊倉・篠塚（女子部）

＜フットサル部、及びNFAフットサル大会の経緯＞

平成19年（2007年）に新しいサッカーニースを取り込むため、フットサルリーグ実行委員会が新設され、事業も同年5月に成田Fリーグ開幕記念プレ大会を開催、当時クーバ成田学校講師だった田辺氏率いる「chaco・チーゴ」が優勝した。同年6月より協会初のフットサルリーグ戦もスタートし、チャレンジ成田Fリーグ（全28試合／チーム）と称され全8チームが熱戦を繰り広げ、初代王者には「遠山FC」が君臨したが、参加チーム激減やコートメイクなど運営の煩雑さもあり、翌年には単発大会のみの開催に戻りました。

その後、平成21年に1種事業として大会名も「NFAフットサル大会」と改称。この時は現アリーナ2面コートで運用したが、のちに全面1コート化してFIFAルールにも準拠した。平成22年には6種部会を新設し分離独立した。大会初期は玉造SCが6回優勝の独壇場、その後NAAが第8回（H28年）第9回（H29年）と2連覇した、最近ではレジェンド（R1年）、エスタディオ成田（R2年）などの新しいチームも王座についている。

今年も開会式を省略、会場入り前に体温測定、健康管理カード提出など、新型コロナ対策を実施。大会規模は全参加8チームと少ないながら前回優勝のエスタディオ成田や強豪の玉造SCや常連フラクチャーズの他、1種登録チームからFCボレイロ成田とやまのくまさん、新勢力ではヴォスポジュールFC、フットモンキー、FC NASの参加もあり和気あいあいながら真剣にプレーし大いに盛り上げてくれました。

＜過去の大会成績＞

大会(開催年度)	優勝	準優勝	第3位	得点王/備考
第1回(H21年)	玉造SC【A】	アギラス	玉造SC【B】/バレンチノ	■得点王:不明 ■玉造SCが初代覇者と成る
第2回(H22年)	玉造SC【A】	玉造SC【B】	酒々井FC/FC M	■得点王:不明 ■玉造SC連覇成る(+準優勝)
第3回(H23年)	Optimisa FC	玉造SC【A】	ガンナーズFC FC Solomon	■得点王:関根李之(ガンナーズ) ■Optimisaが急浮上、玉造SCの大会3連覇阻止
第4回(H24年)	玉造SC【A】	サボターズ	Optimisa FC	■得点王:本田哲也(玉造SC) enjoy部門併用開催
第5回(H25年)	玉造SC【A】	玉造SC【B】	玉造SC【C】	■得点王:不明 ■玉造SC1~3位独占の快挙
第6回(H26年)	玉造SC	レジェンド	エスカーダ/ワンマン	■得点王:黒川和樹(玉造SC)8点
第7回(H27年)	ルーキーズ	玉造SC【B】	レジェンド	■得点王:不明 ■玉造SC4連覇を阻まれる
第8回(H28年)	玉造SC	エスカーダ	ルーキーズ	■得点王:山崎 舟(玉造SC)・清水 剛(ルーキーズ)・藤井 樹(IUHW narita FC【B】)
第9回(H29年)	NAA	栄ハーバーライト	玉造SC【C】	■得点王:斉藤 (IUHW narita FC)●点
第10回(H30年)	NAA	SPORT BOYS-B	Good WorK J	■得点王:郡司 (Good WorK J)●点
第11回(H31/R1年)	レジェンド	ガンナーズ井筒	ブルーシュリンプス	■得点王:後藤(フラクチャーズ)、田中(ブルーシュリンプス)、土田(NAS)●点
第12回(R2年)	エスタディオ成田	ブルーシュリンプス	栄ハーバーライト	■得点王:郡司(レジェンド)8点



■決勝戦：フラクチャーズ対フットモンキーの好ゲーム

■30分で決着つかず。PK戦でフットモンキーGKが阻み初優勝なる



◆準優勝：フラクチャーズ

■得点王：影山選手(6得点)

◆優勝：フットモンキー(初優勝)



第13回NFAフットサル大会 結果 (2/3)

新勢力のフットモンキーが、フラクチャーズをPK戦の末破り初優勝を飾る

《戦評》大会予測は、本命に昨年優勝のエスタディオ成田で、対抗は玉造SCが有力でした。結果は予選Aブロックでエスタディオ成田がフットモンキーに先制され挽回できないまま試合終了、そのフットモンキーが1位抜け。Bブロックはスピードを武器に攻守にスキのないフラクチャーズが玉造SCと勝点で並びながら得失点差の僅差で1位抜けするという、共に本命チームが予選で脱落という大波乱となりました。

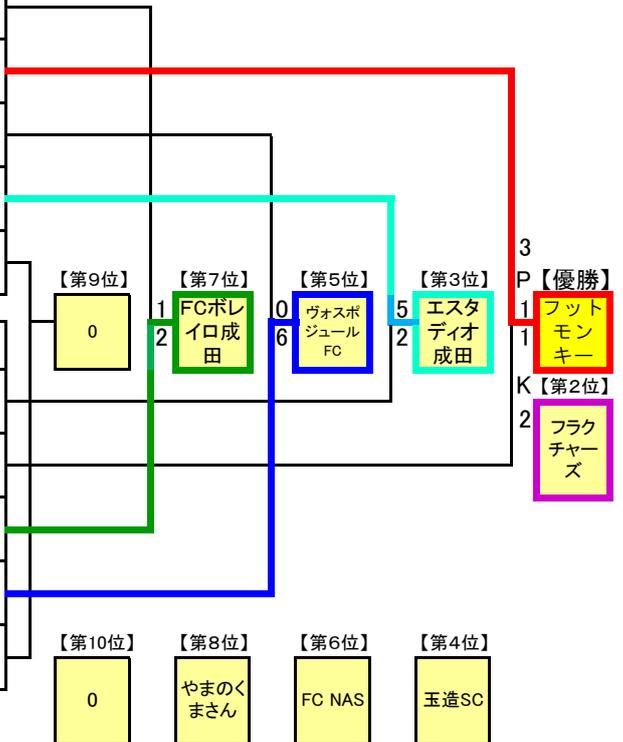
決勝は、その2チームが激突、前半すぐにフットモンキーが先制、その後フットモンキーが追いつく展開でガチンコの好ゲーム、30分で勝敗決まらずPK戦となり、フラクチャーズ3人目のGOALを阻んだ新鋭フットモンキーに初優勝の栄冠が輝きました。得点王には影山選手（フラクチャーズ）が初受賞。

～予選リーグ～

A組	やまのくま さん	フットモン キー	FC NAS	エスタディオ 成田	0	勝 点	得 点	失 点	得失 点	順 位
やまのくま さん		●	●	●		0	2	13	-11	4
フットモン キー	○		○	○		9	8	0	8	1
FC NAS	○	●		●		3	4	9	-5	3
エスタ ディオ成 田	○	●	○			6	9	1	8	2
						0	0	0	0	

B組	玉造SC	フラク チャーズ	FCボレイ 口成田	ヴォスボ ジュールFC	0	勝 点	得 点	失 点	得失 点	順 位
玉造SC		△	○	○		7	8	4	4	2
フラク チャーズ	△		○	○		7	8	3	5	1
FCボレイ 口成田	●	●		●		0	1	9	-8	4
ヴォスボ ジュール FC	●	●	○			3	5	6	-1	3
						0	0	0	0	

9.10位決定 7.8位決定 5.6位決定 3.4位決定 決勝戦



■エスタディオ成田女子選手のドリブル



■3. 4位決定戦:エスタディオ成田対玉造SC戦



■フットモンキー山田選手のボールキープ



■フラクチャーズの得点源:影山選手



■決勝戦:立ち上がりから激しい攻防

第13回NFAフットサル大会 チーム一覧

■大会参加は全8チームで過去最少の参加数だったが、決勝でガチンコの好試合をしたフットモンキーとフラクチャーズや、僅差で破れたとは言えエスタディオ成田や玉造SCは随所で好プレー連発、またウォスポジールFC、FC NASなど新しいチームの参戦もあり、フレッシュな大会となりました。

<Aブロック>



■やまのくまさん(市協会1種登録 大会常連)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■エスタディオ成田(昨年度優勝)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■フットモンキー(初参加)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■FC NAS(昨年大会から参加)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

<Bブロック>



■フラクチャーズ(市協会1種登録)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■玉造SC(市協会1種登録)大会常連・過去5回優勝

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■FCボレイロ成田(市協会1種登録)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



■ウォスポジールFC(市協会1種登録)

攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力